

日本応用藻類学会主催
日本応用藻類学会第 14 回大会
プログラム

開催日 2015年5月16日(土) 10:15~17:30

会場 東京都港区港南 4-5-7

東京海洋大学楽水会館大会議室

日程 口頭研究発表 (10:15~12:00)

ポスター研究発表 (13:15~13:45)

企画シンポジウム (14:00~16:30)

総会 (16:40~17:40)

懇親会 (18:00~20:00)

企画シンポジウム

緑藻ミルのレクチンの利用と展望

日本応用藻類学会のシンポジウムでは、藻類の特性や生育や成分など、資源生物としての有用性とその活用技術に関して、基礎および応用研究を中心とした課題を取り上げてきた。

今回は海藻機能性成分の中、現在話題となっている緑藻ミルのレクチンを中心に、1. 海藻レクチンの生化学的な特徴と利用の展望、2. ミルのレクチンの特性や利用の展望、3. ミルの生長におよぼす環境の影響、4. ミル養殖のための種苗生産方法と養殖技術などを報告していただき、ミルの機能性成分レクチンの利用に関する周辺技術や研究の現状と課題について広く論議を深めたく本シンポジウムを企画した。

(企画責任者：能登谷正浩 日本応用藻類学会 運営幹事)

- 14:00～14:05 S01 「趣旨説明」
(能登谷正浩：東京海洋大学名誉教授・応用藻類学研究所所長)
- 14:05～14:35 S02 「海藻レクチンの特徴－陸上植物レクチンとの比較－」
(垣田浩孝：産業技術総合研究所四国センター)
- 14:35～15:05 S03 「海藻ミルのレクチンの特性と利用の展望」
(今村幸治：株式会社医学生物学研究所)
- 15:05～15:35 S04 「ミルの生長におよぼす周辺環境の影響」
(瀬名波出・依田欣文：琉球大学)
- 15:35～16:05 S05 「Prospects of *Codium fragile* aquaculture for marine lectin production: different modes of seed production and cultivation (マリンレクチン生産のためのミル養殖の展望：異なる種苗生産様式と養殖)」
(Rhea Joy Carton-Kawagoshi, Kazuhisa Ono, Kazuhiko Ooe and Masahiro Notoya : Amaryu Employment Creation Promotion Council)
- 16:05～16:30 総合討論

口頭研究発表（10:15～12:00）

- 10:15 A01 生態的特性の異なるアマモ群落の生産量の比較
○吉田吾郎・堀正和・島袋寛盛・濱岡秀樹（水研セ・瀬戸内水研）
- 10:30 A02 Fisheries Biology of *Saccharina bongardiana*, South Kamchatka, Far-east Russia
○Tadashi KAWAI*, Anna V. KLIMOVA**, Nobu NAGAI***, Nina G. KLOCHKOVA** and Norishige YOTSUKURA**** (* Wakkanai Fisheries Research Institute, ** Kamchatka State Technical University, *** Graduate School of Environmental Science, Hokkaido University, **** Field Science Center for Northern Biosphere, Hokkaido University)
- 10:45 A03 和歌山県南部に生育する褐藻ヒロメにおける地域間の形態的差異について
山内信・○白石智孝（和歌山水試）
- 11:00 A04 カジメ類の成熟率について（その2）
○中嶋泰*1・渡邊耕平*2・山田博一*3・山内信*4・吉田吾郎*5・村瀬昇*6・棚田教生*7・南里海児*8・日高研人*9・井本有治*10・福田紘士*11
（*1 オフィス MOBA, *2 西日本オーシャンリサーチ, *3 静岡水技研, *4 和歌山水試, *5 水研セ・瀬戸水研, *6 水大校, *7 徳島農水総技, *8 株ベントス, *9 福岡水海技セ, *10 大分水研, *11 宮崎水試）
- 11:15 A05 わかめ摂取が糖代謝に及ぼす影響について
○千葉むつみ*、今井基貴*、川上文貴**、吉永恵子***、加原卓***、丸山弘子*（*北里大・医療衛生・再生医療・細胞デザイン, **同左・病態生化学, ***理研ビタミン株）
- 11:30 A06 海藻は未知の植物ホルモン情報伝達機構を持つ
○三上浩司*・森泉**・松浦恭和**・池田陽子**・平山隆志**（*北大・院・水産科学研究所, **岡山大・資源植物科学研）
- 11:45 A07 熱帯性キリンサイ *Kappaphycus alvarezii* の土佐湾における養殖と利用開発
大野正夫（高知大学名誉教授）

ポスター研究発表（13:15～13:45）

- P01 放射性セシウム蓄積によるラン藻イシクラゲの遺伝子発現の変化
○玉置久志*・竹中裕行**・佐藤健二*・佐々木秀明*
（*いわき明星大学・理工学研究科，**マイクロアルジェ(株)・MAC 総研）
- P02 陸生ラン藻イシクラゲによる放射性セシウム汚染土壌の除染試験
○佐々木秀明*・玉置久志*・佐藤健二*・竹中裕行**
（*いわき明星大学・理工学研究科，**マイクロアルジェ(株)・MAC 総研）
- P03 志和岐港内における藻場再生～野外ケージによる採食要因の検討～
○栗本巧海・○廣瀬佳奈・○宮本明日香・記本貴寛（徳島科学技術高等学校）
- P04 フクロフノリの活用について
○田代有里・宮田真未子・小川廣男（海洋大・海洋科学）
- P05 アマモ・ナマコ育成礁における水産生物培養効果
○志田崇*・石川義朗**・桐原慎二***（*志田建設，**環境科学技術研究所，
***青森県産技センター）
- P06 ミル (*Codium fragile*) の生長と形態におよぼす培養条件（温度、光量、CO₂ 濃度、
流速）の影響
○依田欣文・永松和成・瀬名波出（琉球大・工学）

16:40～17:40 総会

18:00～20:00 懇親会（大学会館生協食堂）
